

いぶし銀の実力

アサヒグループホールディングス会長 泉谷 直木

「経営」という言葉は古くは「太平記」に登場する。ひたすらどつすれば極楽に行けるかを考える、忙しく走り回り他人の世話や用事をする、創意工夫をして事を為すとの意味で使われていたようだ。

管理職になった頃から「理想の経営・経営者とは」を考えるようになった。しかしある時それは青臭い書生論議だと悟った。現実には急に2階へは上れない訳で階段を1段ずつ上る努力こそ重要だと気付いた。その後は人間関係に恵まれ多くの助言や指導が私を導いてくれた。

執行役員の時には「沈黙を聞け」と教えられた。指示命令で部下を説得するのではなく主体的に考えさせよ。その時に生じる沈黙を聞く謙虚さと我慢強さを身に付け



あすへの 話題

2017. 5. 1

取締役は会社全体を見る立場であり組織の気を注視せよ。そのためには情熱と教養の修養を掴み気を動かせ」。

に努めよ。常務の時は「怒」。相手の立場に立って物事を考えよ。そのためには本物の感謝の心を持たなければならぬ。

営業の本部長の時には「人の心に影響を与えよ」。大軍の将は心で軍勢を引っ張るもの。そのためには本物の人間になれ。専務時代には「大義を考えよ」。会社だけでなく常に世の中を見て存在意義を考えよと助言された。そして社長に就任した際には「山頂の松に学べ」。雨風にさらされ辛いことがあっても徳の根を張っていれば倒れることはない」と激励された。

かつて父親から「経営者に派手な金はいらない。必要なのはいぶし銀の実力だ。ただし銀は休まずに磨き続けないとすぐに輝きを失い黒ずんだ塊に堕してしまふぞ」と注意されたことを改めて思い出している。